

武蔵野市福祉公社高齢者福祉支援インターンシップ

- プログラム概要 : 武蔵野市福祉公社の取り組みを通して人間存在や地域社会の多様性を学ぶ。
 実習先 : 武蔵野市福祉公社
 実習先情報 : 昭和55年に任意団体として設立され、翌年に有償在宅福祉サービス事業を開始した。
 参加人数 : 2名
 学部学科 : 人間科学部社会福祉学科
 実習期間 : 令和年8月7日～8月30日
 本学担当教員 : 芳賀亮作(教育学科)



○学外学修(FS)における個人の目標

島田愛実

- ① 福祉公社で働いている職員の方はクライアントの問題にどう対応し、向き合っているかを明らかにしたい。
- ② 多機関・多職種との連携・協働をどのように行っているのか？
- ③ クライアントの個性をどう活かし、支援をしているのか？

佐藤暖

- ① 積極的に行動する。(分からないことは聞くことから始める)
- ② 福祉施設の意味・ソーシャルワークの重要性を知る
- ③ 笑顔で、自分自身も楽しみながら活動をする。

○実習先で経験したこと、学んだこと

森安理事長様の武蔵野市福祉公社紹介
 福祉公社の役割は、「**住み慣れた街でいつまでも**」という理念の下で、市民の互助・共助の拡散できる仕組みづくりを行っていることを学んだ。

服部様の武蔵野市福祉公社の歴史
 武蔵野市福祉公社は、早い段階で有償在宅サービスを行っていてそのようなことが**日本の福祉業界に影響を与えた**ことを学んだ。

社会活動センター

「太極拳」や「気軽にイス体操」といった内容の講座を実際に受講した。日常生活では使わない体操が経験の機会や体操を通じて**コミュニケーションの取る場**になっていることを学んだ。



北町高齢者センター

高齢者の方とコミュニケーションを取ることの難しさとともに、無理して会話を続けなくても、目や表情など**言葉ではない部分から細かい変化を読み取ることができる**と学んだ。

デイサービスセンター

夏祭りにも参加させていただき、地域交流の魅力と必要性を感じた。また、介護認定が高い利用者が多く、疾患の特徴を知り、**理解したうえで利用者に向き合うことの大事さ**を学んだ。

住宅改修・福祉用具相談支援センター

このセンターでは、**利用者の生活を尊重して住まいをコーディネート**していて一人ひとりにあった環境整備を行うことが大事だと学んだ。

在宅介護・地域包括支援センター
 地域の高齢者のよろずの相談窓口であり、国の制度下では支えきれない介護保険を受託している。**相談者の話を理解し、言葉を噛み砕いて説明することの難しさ**を学んだ。

権利擁護センター

権利・財産が守られる生活を可能にするように、専門職が支援していた。このセンターで行われている事業は職員と利用者の信頼関係が大切なことが分かった。

成年後見支援センター

成年後見制度の相談窓口として、お金のトラブルから高齢者を守り、制度の普及・啓発活動も行なっている。チームで連帯し、利用者との信頼関係を築く過程を学ぶことができた。

ケアプランセンター

ケアマネジャーは、利用者に必要な支援を提供するために各専門職とチームになり進めることが大事だということを学んだ。

地域包括ケア人材育成センター

介護職の方の育成や技術向上ができるように運営されていた。また、介護職の方が安心して働けるようにプログラムを工夫し、常に良い支援をしていくために考えることの大切さを学んだ。

ホームヘルプセンター

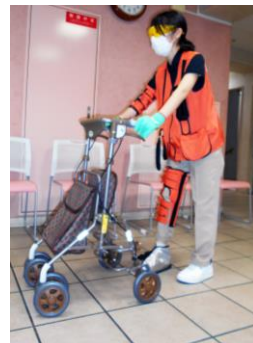
介護保険の「要介護1」以上を受けている方がサービスを受けている。ヘルパーの方は、利用者にとって社会のつながりになっていることを学ぶことができた。

生活自立支援センター

経済的に困窮し、最低限度の生活が維持できなくなる恐れのある人々に対する包括的な支援を行っている。利用者に合わせてアプローチと「受容」の大切さを学んだ。

総務課

会計・法務・施設管理・人事などを行っていた。どのように運営をしていけば職員の方が働きやすくなるかを総務課の方々は常に考えていた。ここでは組織の環境を整えることで高い支援にもつなぐことが可能になることを学んだ。



○今後の展開、今後の学び

どのようなニーズがあるのかを瞬時に察知できる人になりたいと強く思いました。クライアントとは対等な関係を築いていけるようにコミュニケーションを常に取っていきたいです。 島田 愛美

どんな職業に就いたとしても、高齢者の方と関わる上で、人生の先輩に尊敬の気持ちを持ちたいと思います。ただ、遠慮しすぎるのではなく、少しだけ図々しく会話に入れてもらうことが必要な時もあると学びました。

実習から学んだことを忘れずに今後も学んでいきたいです。 佐藤 暖

○武蔵野市福祉公社の皆様へ

武蔵野市福祉公社の部署ごとに実習させていただき、高齢者の生活支援には様々なアプローチ方法があることを学ばせていただきました。今回の実習をさらに実りあるものにするためにも、今後も武蔵野大学で福祉について学んでいきます。本当にありがとうございました。

○担当教員コメント

学外学修の実習に当たり、学生の予定変更や都合に対し臨機応変ご対応いただき心より感謝を申し上げます。

2名の学生は福祉業務の実際を学び、自分の将来の夢の実現に向けて意欲を新たにできました。素晴らしい体験をご提供いただきましたこと、本当にありがとうございました。

教育学科 芳賀 亮作

○実習先コメント

見つけた課題に積極的に挑んで、しっかりと成果を出すことができていました。特に笑顔でコミュニケーションをとっていた皆様の姿に感動しました。これは、将来どんな職場でも必要とされるものですのでこれからも続けてもらえればと思います。実習中に学んだことや感じたことを忘れずに、自分の夢に向かって進んでください。